



北環整発第 151 号
平成 19 年 5 月 7 日

国土交通省道路局長 殿

北郷町長 倉岡 清美



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について（報告）

平成 19 年 4 月 2 日付、国道企第 114 号にて依頼のありました
標記の件につきまして、別紙のとおり報告します。

（文書取扱 環境整備課）

○ 今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

回答 （ 北郷町長 倉岡 清美 ）

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策について

〈アクセス道路の整備〉

少子高齢化、人口減少のなか、地域社会を支え広域的に共有できる連携・交流基盤が不可欠であり、合併により公共施設等の統廃合に対応した道路網の再編、いわゆる地域の重要拠点から幹線道路までのアクセス道路の整備が必要不可欠であります。

〈高速道路のネットワーク化〉

九州が一体的に発展するためには、九州自動車道をはじめとする循環型の高速度交通ネットワークが必要であり、農業・観光の道と云った多様な道の活用をしながら地域の発展と合わせることが重要である。

また、鹿児島県、宮崎県境をまたぐ日南～志布志間約40kmは、まだ基本計画のままであり、早期の整備路線として格上げしていただきたい。

高速道路はネットワーク化されてこそその効果を発揮するものでありますので、日南～志布志間の整備が必要不可欠であります。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきことについて

〈整備のスピードアップ〉

道路事業の効果を早期に発揮させるには、透明性・信頼性の向上と事業進捗管理の徹底やスピーディな道路サービスの提供をするための工夫や取り組みを継続して事業をスピードアップさせる。いわゆる、高速道路体系は、一部地域の開通だけではその効果は絶対に望めません。

九州全体が大きく浮揚し、均衡ある発展を遂げる原動力となるためにも整備のスピードを遅らせることなく、東九州道全線が早期に実現するよう望みます。

〈沿道の住民との協働と管理〉

道路整備によって沿道の生活環境に与える影響が懸念されるため、その当該地域の緑地化、公園の整備等沿線住民の懸念を軽減する事業の展開と同様に理解と協力を求める。また、地域において、観光・イベント時の渋滞対策など、諸課題に対応した道路行政を推進するために、地方公共団体等とも連携し、国民に見える道路行政マネジメントの強化を図る。

本県でも日南海岸・堀切峠のほか、国道220号を含むそのものが観光資源として捉えられており、現在進められているシーニックバイウェイの実践は魅力の創出だけでなく、その維持についても地域と行政の協働が求められるところでもあります。

3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見について

公共交通機関は、運賃収入をもって経営されており、地方部のそれは、都市部に比べ不採算の理由により毎年廃止路線が発生し、自動車に依存をせざるを得ない状況にある。

このような中、少子高齢化は急速に進展しており、高次医療施設への広域的なアクセスの強化は、最重要な課題となっている。

すべてにおいて、都市部と比較し効率性のみが目が向けば、地方の活性化は図れず、また、安心安全の確保までもが、格差が広がってしまう。